

地域で学び育てる教育活動の推進

～地域とともに生きる児童生徒の育成～

揖斐川町教育委員会 学校教育課

1 はじめに（揖斐川町の状況）

- ・令和3年度末に坂内小中学校が北方小学校、北和中学校へ統合し、現在、揖斐川町の小中学校は合わせて10校となった。これまでの統合により、広い校区を抱える学校が増えている。
- ・すべての小中学校で児童生徒数の減少が進んでいる。
- ・近年は新型コロナウイルス感染症の影響で、様々な教育活動や地域行事への参加が制限され、人から学ぶ機会、人とともに学ぶ機会が大幅に減っている。

こうした町の状況を踏まえ、教育委員会としては、生まれ育った地域に愛着をもち、心豊かにたくましく生き抜く力を育むことに寄与してきた。

2 実践例1 地域学習支援事業『地域学び塾』（令和4年度新規事業）

（1）事業目的

- ・新型コロナウイルス感染症の影響等で、対面学習の減少等により、学力の低下が懸念される中、子ども自らが計画を立てて学習を進める力を地域で支援するとともに、地域の中での居場所づくりを推進する。
- ・夏休み等の長期休業期間中に、学習支援を希望する中学生や、地理的条件等で塾などに通うことができない中学生を対象に、地域の教育者等による学習の場を提供する。

（2）実施概要

- ・町内公民館を活用し、希望する中学生に対して、無料での学習支援の場を提供する。
- ・夏休み中14日（1日3時間）実施。
- ・町内学校非常勤職員や大学生等を有償講師として配置する。
- ・各自、自分で決めた学習を進める。 ※ 個々の必要に応じて講師に支援してもらう。
- ・英会話の授業、読書感想文やポスター作成等に関わる講義を行う日も設定。
- ・学校で活用しているタブレットPCの利用可能。

（3）実施状況



- ・参加生徒数118名（のべ438名）

←取り組みの様子

参加した中学生たちは講師との語らいも楽しみながら、とても前向きに学びに取り組む姿が多く見られた。

- ・生徒へのアンケート結果

Q 参加してよかったか。

- ・とても良かった・・・79%
- ・まあまあ良かった・・・20%
- ・あまり良くなかった・・・1%
- ・良くなかった・・・0%

<今後への要望>

- ・来年も参加したい。
- ・もう少し長時間でもよい。
- ・先生の数をもう少し増やしてほしい。
- ・テスト前や他の長期休暇もやってほしい。
- ・もっと友達の教え合いができるとうい。

3 実践例2 「中学生と町長が語る会」(9月14日(水)13時40分～15時)

(1) 事業目的

- ・町内の全中学3年生と町長とが、これからの町づくりに関する考えを交流しながら町の未来像を語り合う場を設けることを通して、子どもたちの“町政への参画意識の醸成”を図り、ひいては“町の教育方針の具現”につなげるために「中学生と町長が語る会」を開催する。

(2) 事業概要

<コロナ禍以前>

- ・「中学生議会」と称し、町内中学校の代表が中学生議員として役場議場へ集い、議会形式で町へ提言を行ってきた。

(課題)一部の代表生徒のみでなく、より多くの生徒の町政への参画意識を醸成していきたい。
しかし、すべての中学生が集まることは、物理的にも感染症対策の面からも困難。

変更・改善

<令和4年度>

- ・新たに「**中学生と町長が語る会**」と名称と方法を変更して実施。
議会答弁スタイルではなく、中学生からの町への提言を町長がその場で聴いて回答する。また、中学生への期待や願いを町長から聴く場ともする。
- ・町内3つの中学校と役場をオンラインでつなぎ、各教室にいる中学校3年生全員が、町政に関する代表者の提案を聴きながら、自らの意見も発信できるスタイルで実施。

【町への提言】

- 町の活性化に関すること
- 学校設備改善等に関すること
- 通学環境等に関すること
- 町の行政推進に関すること



(3) 実施状況

<提言されたこと>

- ・町内観光資源の有効活用について
- ・過疎化問題の解消のために町の魅力発信について
- ・体育館のエアコン設置について
- ・教室黒板をホワイトボードに変更について 等

<振り返り>

- ・オンラインにより町内中学校3年生の全学級と役場をつないで互いの表情や様子を見合いながら語り合いができたことが大変良かった。傍聴された議員さんからも「良い試みだった」という評価を得た。学校現場からも「中学生たちは町長さんの言葉に熱心に耳を傾けながら考えようとしていた」という声が聞かれた。
- ・予め準備した提言以外に自由交流の時間を設定したが、生徒が積極的に意見を述べ活躍できた。中学生の町政に対する参画意識や役場への親近感の高揚に役立つ場となり得ていたと考える。
- ・町長さんも突然の提言や意見にも丁寧に答えてくださったり、別の考え方の視点を中学生に助言くださったりして、質の高い語り合いを成立させることができた。
- ・今回は初の試みということもあり、かなりの下準備を行い、ある程度のシナリオをつくって会に臨んだが、今後は、簡単な箇条書き程度の提言項目確認のみぐらいの準備をし、当日、自由な発想で語り合える会となるように改善していきたい。